

神奈川県立中原支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和８年度 中原支援学校 第１回 学校運営協議会
開催日時	令和８年６月２９日（月） 午前９時４０分～午前１１時３０分
開催場所	本校 支援ルーム
出席者	委員：９名（本校校長１名含む） 事務局：１１名
会議資料	・中原支援学校運営協議会設置要項（R8.4.1 一部改訂） ・グランドデザイン ・令和７年度 学校評価報告書(実施結果) ・令和８年度 学校評価報告書（目標設定）
議事録	【今年度の学校運営協議会について】 ・中原支援学校運営協議会設置要項の一部改訂承認 ・内容、年間スケジュール、部会承認 【今年度の校長の学校運営の基本方針について】 ・賛成多数により承認 【今年度の取組について（協議）】 ・委員の賛成多数により承認 <学習指導> ・授業を見合うことや「活動システム」による振り返りは教員にとって意味のあるものとなっているか。 →「活動システム」については共通の観点で授業改善ができたことで教員からも好意的な意見が多かったが、実際の参観者は少なかったという課題は残っている。 ・意思決定支援はシンプルだが難しい。わかりやすい情報の提供と、ベースとして信頼関係と環境を大事にする必要がある。「決めた」だけが意思決定とならないように配慮したい。 <地域等との協働> ・分教室の教室前の廊下を高校の生徒通行可としたことで自然なふれあいが広がっていった。また、支援が必要な高校の生徒においてセンター的機能の活用にもつながった。 ・地域とともにある学校という視点から自治会内の公園清掃の継続など地域との連携・協働というところで進めていきたい。自治会への周知が課題である。 <学校管理・学校運営> ・引継ぎ表の作成も大切だが、組織的なシステムとして整理したほうが有効である。 ・先日の台風接近時の対応については行事等の兼ね合いなど、前日判断には複雑な要素が絡んでくるが、安全に登校できるのかを基準に他校の情報を集約・参考にした前日の臨休判断は英断といえる。 <不祥事防止> ・ハラスメント防止にはお互いに交流・共有・支援という視点を持つことが大事である。短時間でも意味のある友好的な取り組みを重ねていくとよい。 <業務改善> ・退勤時間の設定だけでは業務量が変わらないので現場はつらくなる。管理、総括する側に負担がきていないか。業務量削減と時間管理がセットといえる。